平成28年省エネルギー基準対応 JIS Q 17050−1に基づく自己適合宣言書（附属書）

自己適合宣言書文書番号	ST74001	付属書番号	ABN0520A0
発行者の名称	三協立山株式会社　三協アルミ社		
作成日	2025年3月3日	改定日	
商品	防火ドア　プロノーバ2		
仕様	-		

- 本書は自己適合宣言書と合わせてお使いください。
- 試験値はJIS A 4710に基づく試験により測定した代表試験体の熱貫流率です。
- 計算値はJIS A 2102に基づき社内で算出した代表試験体の熱貫流率、または国立研究開発法人建築研究所が公表する「平成28 年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「2.エネルギー消費性能の算定方法2.1 算定方法第三章暖冷房負荷と外皮性能第三節 熱貫流率及び線熱貫流率5.部位の熱貫流率5.2 開口部5.2.4 大部分が透明材料で構成される開口部（窓等）又は大部分が不透明材料で構成されている開口部i（ドア等）の熱貫流率」に基づき算出された値です。
- 建具とガラスの組み合わせは国立研究開発法人　建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」に基づき、一般社団法人　日本サッシ協会にて作成された表に基づく値です。
- 遮蔽物が付与される場合の開口部の熱貫流率は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「第三節　熱貫流率及び線熱貫流率　5.2.2 付属部材が付与される場合　および　5.2.3 風除室に面する場合」に基づく値です。
- 代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「第三節　熱貫流率及び線熱貫流率　付録D 外皮の熱損失、窓・ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲を定める基準」に基づきます。
- 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「第四節 日射熱取得率 6 大部分がガラスで構成されている窓等の開口部 および 7 大部分がガラスで構成されていないドア等の開口部」に基づく値です。
- 掲載されている内容は、製品の仕様変更等により、予告無く修正する場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ガラス中央部の熱貫流率は、販売元にお問い合わせください。

対象製品		開閉方式		ガラス中央部 熱貫流率 Ug[W/(㎡・K)]	ガラスの仕様例	開口部の 熱貫流率［W/㎡K］		開口部の 日射熱取得率[η]		建具とガラスの組み合わせ	試験・計算による性能値
						遮蔽物無し	風除室あり	遮蔽物無し	風除室あり		
防火プロノーバ2	ドア本体：採光無 P11,P18	片開き		ドア本体:-	ドア本体:-	1.33	1.18	0.05	0.04		○
		親子	子扉：採光無	ドア本体:- 子扉:−	ドア本体:- 子扉:−	1.33	1.18	0.05	0.04		○
			子扉：採光有	ドア本体:- 子扉:1.1	ドア本体:- 子扉:Low-E4+Ar16+FW6.8	1.81	1.54	0.06	0.05		○
	ドア本体：採光有 S11,S14,S20,S21,K11,J14,J15,J20	片開き		ドア本体:1.1	ドア本体:Low-E4+Ar16+FW6.8	1.81	1.54	0.06	0.05		○
		親子	子扉：採光無	ドア本体:1.1 子扉:−	ドア本体:Low-E4+Ar16+FW6.8 子扉:-	1.81	1.54	0.06	0.05		○
			子扉：採光有	ドア本体:1.1 子扉:1.1	ドア本体:Low-E4+Ar16+FW6.8 子扉:Low-E4+Ar16+FW6.8	1.81	1.54	0.06	0.05		○